

報道関係者各位
(参考資料)

2021年6月7日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、SOCサービスにおいて、エンドポイント製品の監視、対応を強化

-- IIJ SOCがIIJセキュアエンドポイントサービスで検知したインシデントの調査および一次対応を実現 --

当社は、セキュリティオペレーションセンター(SOC)でお客様システムのセキュリティログを監視しインシデント対応を行う「IIJ C-SOC サービス」の機能を拡張し、本日より、IIJ セキュアエンドポイントサービスで提供しているカナダ BlackBerry®社の EDR(※)製品「BlackBerry Optics(旧名称:CylanceOPTICS)」を監視、対応の対象に追加いたします。IIJ セキュアエンドポイントサービスの BlackBerry Optics で発生するアラートを、IIJ SOC の専任セキュリティアナリストが 24 時間 365 日監視し、必要に応じて一次対応まで行うことで、インシデント発生時の調査・対応の迅速化や作業負担の軽減を実現します。

IIJ C-SOC サービスでは、クラウド型の総合エンドポイントセキュリティサービス「IIJ セキュアエンドポイントサービス」と連携し、エンドポイント端末を監視できる「エンドポイント (EP) 連携モジュール」を提供しています。EP 連携モジュールの対象に BlackBerry Optics を追加することで、エンドポイント側でインシデントが検出された際の状況確認や、ネットワーク隔離も含めた対応を一元的に行います。

BlackBerry Optics は、端末上で暗号化された通信やネットワーク内の感染の広がりなど、端末でしか特定できない不正な挙動を独自に検知できるほか、プロセスの強制停止、端末をネットワークから論理隔離するなどの制御機能も備えています。一方で、検知したアラートをもとに端末上の状況を把握したり、原因追求や脅威への対応をするには、高度なスキルが必要なうえ 24 時間 365 日いつ発生するかわからないインシデントに対応できる体制の構築が難しいなど、お客様側で導入後の運用が課題となることが多いのが現状です。そこで、BlackBerry Optics を IIJ SOC の監視対象に追加し、IIJ セキュアエンドポイントサービスと連携することで、エンドポイントの状況の確認やインシデント対応を IIJ の専任セキュリティアナリストがお客様に代わって対応いたします。

(※)EDR(Endpoint Detection and Response):PC などのエンドポイントで起きている挙動(ファイルやプロセスの動き、レジストリ変更など)を自動的に収集したうえで、さらに攻撃プロセスを関連付けて調査の迅速化や正確性の向上、拡散範囲の特定などを実現する製品。

本オプションの特徴

- ・検知したアラートをトリガとして、高度なスキルを持った IIJ SOC のアナリストがお客様に代わりエンドポイントのインシデントの分析や一次対応を行うため、お客様側の運用負荷を最小限に抑えることが可能です。
- ・C-SOC サービスのオプションとして導入いただくことで、エンドポイントのログだけでは判定が難しい脅威に対しても、ファイアウォールやプロキシなどのログと組み合わせて分析できるため、精度の高い調査により最新の脅威にも対応可能になります。

※ファイアウォールやプロキシなどのログとの相関分析には、IIJ C-SOC サービスの各連携モジュールのご契約が必要です。

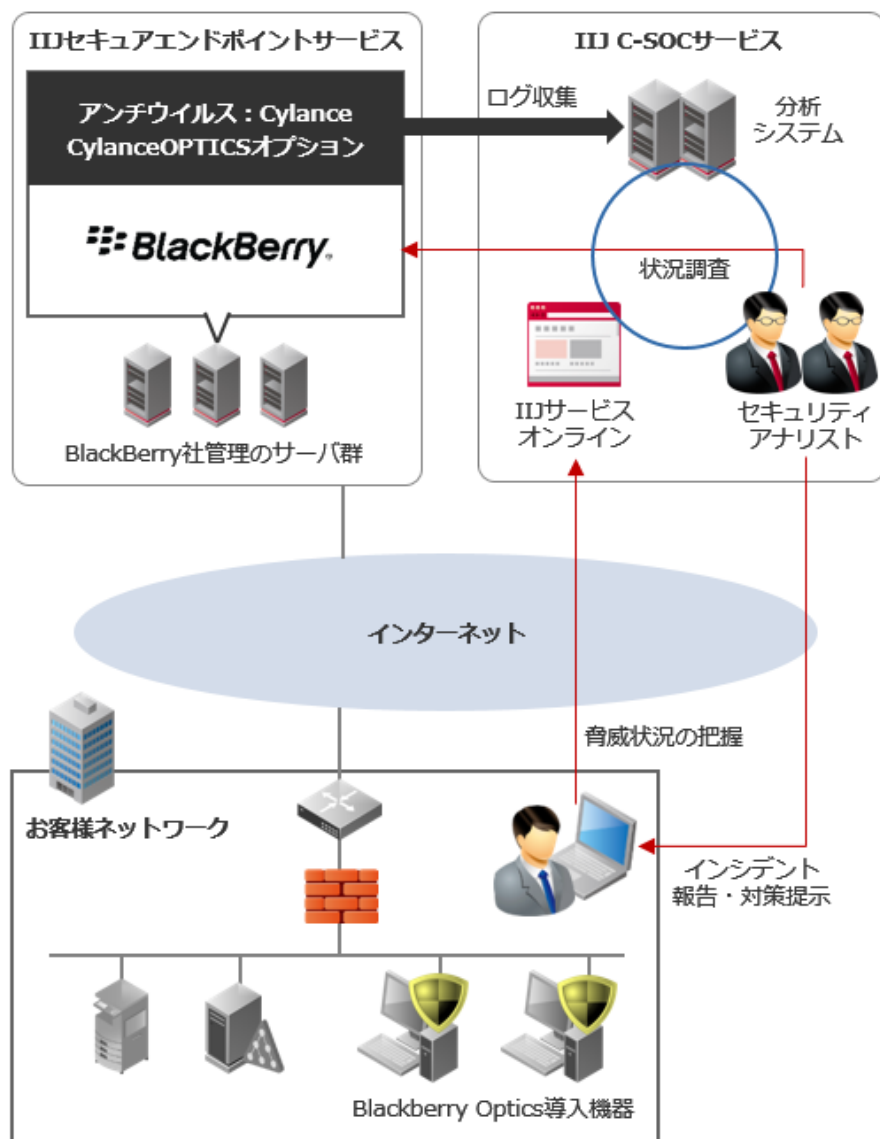
利用料金(100 ユーザの場合)
初期費用 864,000 円(税抜)～
月額費用 366,500 円(税抜)～

※利用料金には IIJ C-SOC サービス基本料金、EP 連携モジュール費用、オプション費用が含まれます。

※本オプションは、IIJ C-SOC サービスのプレミアムプラン、アドバンスプランに付帯するオプションです。ベーシックプランではご利用いただけません。

※本オプションの利用には、別途 IIJ セキュアエンドポイントサービス アンチウイルス:Cylance CylanceOPTICS オプションの契約が必要です。

サービスイメージ



➤ サービスの詳細は以下サイトをご覧ください。

<https://www.ij.ad.jp/biz/c-soc/menu.html>

今後も積極的にエンドポイント製品を監視対象に追加し、従来行ってきた通信上での監視に加え、エンドポイントにおける監視、対応の強化をすすめてまいります。

IIJ は今後も、「安全をあたりまえに」をコンセプトとするセキュリティ事業ブランド「wizSafe(ウィズセーフ)」の下に、インターネットを誰もが安心して安全に使える社会インフラへと発展させるべく、活動してまいります。

■BlackBerry Japan からのエンドースメント

現在顧客にとって、サイバー攻撃の手法とセキュリティ対策の双方に高度な知識を持ち、日々発生する多種多様なアラートに対応できる人材の確保は、ますます難しくなっております。このような状況下において、顧客に代わり、運用、実行を効果的に提供する MDR ソリューションに対する要望が急増しております。この度、最新のサイバーセキュリティに対する高度な知識、BlackBerry のセキュリティ製品に対する深い知識、高度な運用ノウハウを持つ株式会社インターネットイニシアティブが、弊社 MDR パートナーとしてサービスの提供を開始し、より多くのお客様のサイバー事故を未然に防ぎ、ビジネス成功に寄与できることを確信しております。

BlackBerry Japan 株式会社 執行役員社長 吉本 努

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL:03-5205-6310 FAX:03-5205-6377

E-mail:press@ij.ad.jp URL: <https://www.ij.ad.jp/>

(※)本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。